

2019情報通信講演会

令和元年11月1日（金）、当センター事務室に於いて、総務省沖縄総合通信事務所杉野所長を講師に「2019情報通信講演会」を開催しました。

講演会は、第3回の理事会終了後、開催し理事メンバー他賛助会員や関係業者など18名が参加しました。

講演は、台風第18号による先島地域の海底ケーブル切断により航空管

制施設や気象ダーの重要通信への被害や携帯電話の不通により、復旧作業や自治体と住民との連絡手段に支障が生じた事例を挙げ、防災無線が有効に活用された。

また、通信回線が遮断した場合の県や役場、住民との連絡手段と事業者や防災担当者との連絡窓口の設定の必要性など災害時における通信の確保について現地視察結果を踏まえ報告された。

5G・IoT高度無線環境整備については、ローカル5Gの概要について説明があり、通信事業者以外についても利用可能となり、企業での幅広い活用できることや3月までに沖縄セルラー電話(株)が独自の本土～沖縄間の大容量の海底ケーブルを東シナ海ルートで敷設することで、太平洋で地震が発生した場合、現在のルートよりも切断される可能性が低い。更に、先島地域や周辺離島についても大容量の海底ケーブルを敷設することも必要とした。

今後とも県内の情報通信の発展に尽力していきたいと述べられた。



杉野沖繩総合通信事務所長

